

# 講師：浅沼 幹人 博士

岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科 脳神経機構学分野 (教授)

## アストロサイトのシグナル分子と 抗酸化防御機構を標的とした神経保護

これまでに我々は、アストロサイトの抗酸化防御機構と神経保護について検討し、パーキンソン病 (PD), 筋萎縮性側索硬化症 (ALS) のモデルを用いて、神経保護の標的となりうるアストロサイトのシグナル分子と抗酸化防御機構分子を見出し、いくつかの病態修飾薬 disease modifying drugs 候補薬剤, 物質を報告してきました。また、最近孤発性PDは黒質ドパミン (DA) 神経変性といった中枢神経変性に先行して消化管 Auerbach 神経叢や心臓の交感神経終末など末梢自律神経系変性がみられる全身病と考えられるようになっていきます。中枢神経系, 末梢消化管神経系に PD 様の病態をもたらす PD 発症環境要因として注目される農薬ロテノン投与・添加した PD モデルマウスや腸管初代培養神経・グリア細胞を用いてロテノンにより惹起される中枢および腸管神経障害にアストロサイト(様グリア細胞)が関与することを見出しました。本講義では、これら知見について紹介します。

開催日時:平成 30 年 6 月 19 日(火) 13:00 - 14:30

会場:薬学部 第 1 講義室(薬学部研究棟 2F)

本講義は、薬学部3年生「生物化学4」特別講義として開講しますが、受講者以外の聴講も歓迎します。

担当:神経病態解析学分野・准教授・笠原 二郎  
awajiro@tokushima-u.ac.jp  
Tel: 088-633-7278 学内 6256